



































# TRAVEL



# 第13話 マルタの一日

マルタに着いて最初の朝、昨夜は遅くに着いたので、早速ホテルのベランダに出てみた。朝日を反射する海がすこぶる綺麗で、白い家々はギリシャを彷彿させる。ホテルの朝食（バイキングはいいなあ）をたらふく食べて、朝の散歩に出でみた。いやあ、標識も何もかも英語で、これはさながらイングランドの海辺の街だ。

マルタそれ自体が小さな島なのであるが、さらに小さい島があつて、そこが風光明媚であると聞いているので、そこにフェリーを乗り継いで車で出かけて行くことが今日のゲームプランであつた。が、ホテルのフロントを通つた時にツアーチラシが自に入つた。その小さな島までカタマラン（双胴船）で連れて行つてくれるという。少し惹かれたが、予定通り車の旅をしようと部屋に戻る。が、どうしても気になるので、も

う一度下に降りて詳しく聞いてみた。フロントの人に話によると、カタマランで島に行くだけでなく、そこからバスで中心の街ビクトリアまで連れて行ってくれる。それだけでなく、さらには小さな島の青い海のビーチにも連れて行つてくれるらしい。その名も「Beach of Goto & Comino」。総額はひとり40ユーロだという。安くないかい? 昨年行つたギリシャのサントリーニもツアーが最高であつた。時計をみると今は9時10分。出発は9時30分。幸い、集合場所は近いらしいが、かなり急がなくてはならぬ。急いで部屋に戻つて細君を引つ張つてギリギリで集合場所に間に合つた。赤いカタマランは格好良い! 1時間あまり走つたろうか、船は最初の目的地Goto島に到着。そこから間髪入れずにバスで10分。Gotoの中心街、ビクトリアに着いた。この街はビクトリア女王の在位期間で大きいたことは確実だ。そこにはごつた返してはいるが良

い工ネルギーが漂う。今でも入りたいレストランが並ぶ通りを歩いてエジプトのような路地を抜けるとそこに大聖堂、St. George's Basilica がある。聖ジョージはイングランドの守護神、イススのような赤字に白い十字が旗である。それだけで、ここがどれだけ植民地時代のイングランドにとつて重要な意味を持つ場所であるかを測り知ることができる。外からは小さな建物に見えるが中に入ると教会は肌を露出し

て入る訳にはいかない。ヂーチリゾートの教会は水着姿の女性に黒いベルトを被せる。続いてシタデルに向かう。かなり暑いので参つて丘を登る。しまうが頑張つて丘を登る。と古い要塞と教会がある。大砲が並んでいる。見終わつてから先ほどのレストランが並ぶ繁華街に向かいまるでロンドンかと思う店に入つてバーガーとラザニアを食べた。私たちはいつもラツキーで入るときは空いているのに、途中からそ

らく混み始める客寄せパンだなのだ。さて、そこからバスに乗りつて船着場に戻り、先ほどの赤いカタマランで次の島、Cominoに向かう。Comino島はマルタのメインの島とGozo島の間に位置する小さな島で、自然を残すために開発が一切されていらない。目指すのはブルーラグーンビーチ、海が青なのがあつた。いやあ、これだけ青い海を見たことがない。その透明感と水の温度と、これは最高の海水浴といつて良いだろう。

陽が傾き始めた頃に力タマランのお迎えが来る。それに乗つて1時間強で朝に出发したValettano船着場に戻る。これははつきり言つて大正解であつた。車は1日車庫に入れて、船とバスで回る「Best of Gozo & Comino」。最高であつた。すつかり上機嫌でレストランを物色してホテルに屋つて休息。そして先程目を付けておいたイタリアン、レストラン（昨日までイタリアにいたのだが）に直行。お決まりのカラマリとボンゴレスパゲッティを注文。自分でGPSを頼りに運転する旅行から一転、他人に思い切り遊んでもらつた超能天気なマルタの1日であつた。（続く）

愛知県名古屋市天白区にある荒木集成館を見学してきました。同館は、考古を中心としたコレクションを展示・紹介する博物館で、2階の常設展示室では名古屋市千種区から天白区にまたがる「東山古窯址群」から荒木実（1922～2005）氏が発掘・収集した考古資料のほか、市内の遺跡の発掘資料を中心に展示しています。展示されている資料のほとんどは、荒木館長が自ら名古屋市内で発掘、収集したもので、もともと中学校の理科教師であった荒木館長は、はじめは考古学に興味が無く、その学問について全く知りませんでした。が、1952年に生徒が拾つてきた一片の土器に興味を引かれ、考古学の道に入つていきました。1955年8月、長野県茅野市の考古博物館（尖石館）（現茅野市尖石縄文考古館）を訪れたとき、やはり

考古学の専門的な勉強をしたわけではないにも関わらず、自分の力で博物館を建てた宮坂英式（みさかがす）氏の話を聞き、その業績の尊さに心打たれ、その生き方に自らを重ねたこともあります。自分で博物館を建てることを決意したのです。荒木館長の専門分野は地学だったため、フィールドワークを通じて名古屋市内の地質と、遺跡の分布を長期間にわたり調査しました。中でも、名古屋市東部の古窯群の調査を精力的に行い、1994年には大著『東

## 荒木集成館



栗原祐司の  
ミュージアム・フリーケのひとりごと

第 529 回

An advertisement for HIS Super Summer Sale. The top left features the text 'HIS SUPER SUMMER SALE!' in blue and white, with a small orange tag below it. The main headline in the center reads 'HIS夏の大セール！' (HIS Summer Big Sale!) and '旅行商品が特別価格で登場！' (Travel products are now available at special prices!). To the right, a large white airplane is shown flying through a blue sky with white clouds. A red arrow points from the text 'HIS夏の大セール！' towards the airplane. On the right side of the airplane, there is Japanese text: '日本行き航空券キャンペーンも実施中！' (Airlines to Japan campaign also underway!). In the bottom right corner, there is a QR code. The bottom left contains a phone icon and the text '優先受付コード『NYSK5』でスムーズ対応' (Smooth response with priority code 'NYSK5') and '(お電話でコードをお知らせください)' (Please provide the code when calling). The bottom center provides contact information: 'お問い合わせ 1-877-447-8721 inquiry@his-usa.com'.



